

平常展 第2期仏教の思想と文化 インドから日本へ(3階展示室)

特集展示(2階展示室)

追慕抄 九條武子

慈善活動に込めた、み仏のこころ

2017年
1月9日〔月・祝〕～2月19日〔日〕

※1月17日(火)・23日(月)・30日(月)、2月13日(月)は休館

開館時間：10時～17時 ※入館は16時30分まで

入館料：一般／500円(400円) シニア・大学生／400円(300円)
高校生／300円(200円)

※()内は20名以上の団体料金 ※シニアは65歳以上

※中学生以下、障がい者手帳等の交付を受けている方およびその介護者1名は無料

主催：龍谷大学 龍谷ミュージアム、京都新聞

後援：仏教婦人会総連盟、学校法人京都女子学園
社会福祉法人あそか会

特別協力：浄土真宗本願寺派、本山 本願寺

龍谷大学

龍谷ミュージアム

RYUKOKU MUSEUM

追慕抄 九條武子

九條武子は本願寺(西本願寺)第21世明如(みょうにょ)宗主(しゅうしゅ) (大谷光尊師(おおくにみつそん)の次女として明治20年(1887)に生まれ、やがて男爵・九條良致(くじょうりょうぢ)と結婚しました。その間、真宗婦人会(しんしゅうふにんかい) (現・仏教婦人会総連盟)の総裁代理・本部長となり、真宗婦人会の近代化(きんぱい)に対して重責(じゅうせき)を担いました。さらに義姉(ぎせい)・大谷篤子(おおくにあつこ)の意志(いし)を継ぎ、京都女子高等専門学校(きょうとじよしこうとうせんがく) (現・京都女子大学)の設立に尽力(じんりき)した一方、絵画(えが)・華道(けだう)・和歌(わが)などの諸芸(しよげい)にも優れていました。

大正12年(1923)9月、九條武子は東京・築地別院(きずきべつえん) (現・築地本願寺)で関東大震災に見



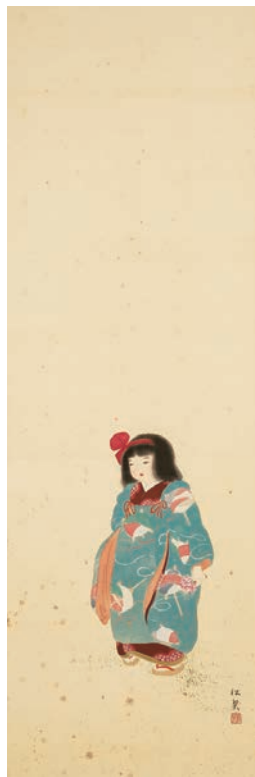
九條武子肖像 イギリスにて(福井:照恩寺蔵)

舞(ま)われました。自身が被災(ひさい)しながらも、慰問品(ゐもんひん)の分配(ぶんぱい)や着物の縫い直し、また託児所(たくじょしょ)での子供たちのお世話(おせわ)など、救援(きゆうえん)・慈善活動(じつぜんかっどう)を積極的に展開(てんかい)しました。しかし、昭和3年(1928)2月7日、42歳(せいのじゆう)という若さ(わかさ)で還浄(きんじよう)しました。仏教婦人会総連盟(ぶつこうふにんかいそうれんめい)では、この日を「如月忌(にがしづき)」と称(なづ)して、毎年(まいねん)その遺徳(いとく)を偲(しの)んでいます。

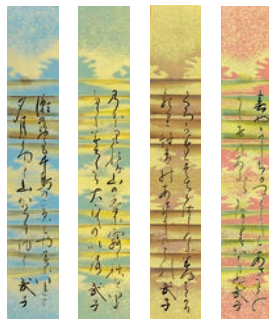
平成29年(2017)は、九條武子没後(ぼつご)90年にあたります。この展示を通して、九條武子を偲(しの)ぶ機縁(きえん)となり、記憶(きおく)と記録(きこく)をさらに掘り起こし、後世(こうせい)に伝えていければ幸いです。



九條武子自筆 柳下美人図 (京都女子大学蔵)



九條武子自筆 童女図 (個人蔵)



九條武子自筆 短冊 (龍谷大学図書館蔵)



関東大震災の記録フィルム (関西初公開・築地本願寺蔵)

このフィルムは、昭和59年(1984)東京・築地本願寺の蔵から発見されました。関東大震災の状況や救援・復興の様子を鮮明に映し出しています。映像には、九條武子が日比谷公園で被災した児童への愛護運動を行い、衣類を手渡している様子がうかがえます。(左側に九條武子)

関連イベント (無料)

■ 仏教文化セミナー「九條武子 その信仰と事績」(事前申込不要)
— 龍谷ミュージアム「九條武子」展に寄せて —

日時: 2017年2月11日(土) 13時30分~17時50分
※終了後、18時30分からミュージアムの特別観覧会(有料)

場所: 龍谷大学 大宮学舎 清和館3階

講師: 赤松徹真氏(龍谷大学学長・文学部教授)
中西直樹氏(龍谷大学文学部教授)
坂口紀美子氏(フリーライター)
八木意知男氏(京都女子大学名誉教授) 他

主催: 龍谷大学仏教文化研究所

共催: 龍谷ミュージアム、龍谷学舎

後援: 京都女子大学宗教教育センター

問合せ先: 龍谷大学大宮学舎 中西直樹研究室
直通 (075)343-3408

■ 学芸員トーク

(約30分・事前申込不要)

日時: 2017年1月14日(土)、1月21日(土)、1月28日(土)、
2月4日(土)、2月11日(土・祝)
各13時30分~

場所: 龍谷ミュージアム 101講義室

※参加には、観覧券(既にご覧になった方は、その半券)が必要です。

■ 2017年新春 ふるまい昆布茶

日時: 2017年1月9日(月・祝)・10日(火) 各日10時~ なくなり次第終了

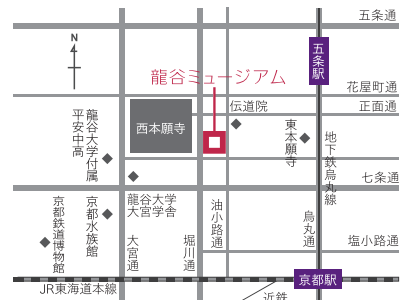
場所: 龍谷ミュージアム正門付近

同時開催(3階展示室)

平常展 第2期

仏教の思想と文化 インドから日本へ

インドで生まれた仏教がアジア全域に広がり日本に至るまでの約2500年の歩みを、大きく「アジアの仏教」と「日本の仏教」に分けてわかりやすく紹介します。多様な仏たちの姿、様々な言語に翻訳され異なる文字で記された経典を通して、仏教をとりまく世界の広がり(つた)と繋がりとをご紹介します。



アクセス
● JR・近鉄・地下鉄丸線「京都」駅から徒歩約12分
● 地下鉄丸線「五条」駅から徒歩約10分
● 京都市バス(9・28・75系統)「西本願寺前」下車徒歩約2分
※当館には専用の駐車場はございません。
ご来館の際は、バス等の公共交通機関をご利用ください。

龍谷大学

龍谷ミュージアム
RYUKOKU MUSEUM

〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下る(西本願寺前)
TEL: 075-351-2500 FAX: 075-351-2577
http://museum.ryukoku.ac.jp/